

佐々木喜善 きぜん 民俗學者、小説家。明治十九年十月五日岩手縣上閉
 伊郡上淵村生れ、昭和八年九月二十九日歿（六六一—一九三三）。筆名佐々
 木繁、佐々木遠野、佐々木鏡石、佐々木魔美、小野萬草、蕉鹿夢、遠
 野草刈等。岩手醫學校、打學館大學教育部、早稻田大學文科等で學ぶ
 と申退。郡・縣農會議員、上淵村長等々務めた。柳田國男の『遠野物語』
 語』（明治四十二年刊）は、早大在學中、柳田の許へ通つて語つた傳
 承を記録したもの。その後と昔話の採集に従ひ、諸雜誌に陸續と發表。
 晩年いはい自ら鐵筆を執り、雜誌『民間傳承』を作ると、『魂』ここヤ已む。
 著書に、『東奥異聞』（大正十五年二月—二十日坂本書店出版部）『閑話叢
 書』（、『新版聴耳草紙』（昭和八年六月十二日中外書房。のち『聴耳
 草紙』（三十九年九月一日筑摩書房「筑摩叢書」）、『農民怪譚』（本
 山桂川編、昭和九年五月十九日一誠社）等。また山田野理夫編『遠野
 のザシキワラシエオシラサマ』（昭和四十九年二月十五日室文館出版
 会社）には、『佐々木喜善全著作目録』附載。

